

令和5年度 指定管理業務 実績評価シート

基本様式

作成年月日 令和6年6月19日

部課名 観光部 文化振興課

施設名	弘前文化センター
施設の設置目的	弘前文化会館(1階部分及びホール)は、市民に音楽、演劇、美術等の発表及び鑑賞の機会を提供し、地域の文化向上と福祉の増進を図るため設置したものである。 弘前市立中央公民館(2階及び3階部分)は、市民の実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種事業を行い、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するために設置したものである。 弘前文化センター駐車場は、弘前文化センター利用者駐車場及び一般車両の駐車場として設置したものである。
所在地	弘前市大字下白銀町19番地4
指定管理者名	アップルウェーブ株式会社
指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日
<p>1 事業計画の実施状況</p> <p>施設の設置目的を理解し、協定書や管理業務基準書に基づいて、概ね計画通りに実施されている。 成果指標は達成できなかったが、貸室の使用制限等の感染症対策を迅速かつ適正に実施している。</p>	
<p>2 自主事業の実施状況</p> <p>令和6年2月23日実施 「N響メンバーによるゲートウェイゾリステン ～Cocomi&サキタハチメを迎えて～」 「N響メンバーによるゲートウェイゾリステン ～Cocomi&サキタハチメを迎えて～」は、市民が一流の音楽に触れる機会を創出されている。</p>	
<p>3 市民サービス向上のための取組状況</p> <p>施設利用者に対し実施しているアンケートの内容をもとに迅速に対応し利用者の満足度向上に努めている。 また指定管理者の運営するFM放送において平日午前中の番組内に文化センターインフォメーションコーナーを設け、催物案内や施設利用案内を行うほか、SNSを活用しリアルタイムでの情報提供を行うなど、施設の情報発信にも熱心に取り組んでいる。</p>	
<p>4 市民ニーズの把握の実施状況</p> <p>施設利用者に対しアンケートを実施し、得られた意見には迅速に対応している。 得られたアンケートの写しを担当課にも提出し、全体共有を図っている。</p>	

5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）

令和5年度における文化会館の利用者数(利用件数)は45,329人(1,073件)、ホールの稼働率は33.6%となっており、リニューアル前の令和2年度と比べると実績は向上しているものの、利用者数(利用件数)及びホールの稼働率ともに例年を下回っている。
(参考:令和元年度 利用者数(利用件数)52,436人(1,223件)、ホール稼働率37.9%)

6 指定管理業務の収支状況

計画的で安定した予算執行に努めており、適正に行われている。

7 実地調査の結果

催事主催者へのアンケート協力依頼や、自主的なスタッフ勉強会の開催など、利用者ニーズの把握及びサービスの向上への意欲が高く、リニューアルオープン後も施設内外の不具合の確認に努めるなど、施設の管理運営全般的に適正である。

8 成果指標の達成度

中央公民館

利用件数:目標 2,700件 実績 2,000件 達成度 74.0%

利用者数:目標 75,000人 実績 66,163人 達成度 88.2%

文化会館

利用件数:目標 1,400件 実績 1,073件 達成度 76.6%

利用者数:目標 59,000人 実績 45,329人 達成度 76.8%

文化センター駐車場

利用台数:目標 83,000台 実績 55,429台 達成度 66.7%

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	A	4月から運営する際、団体名の誤記入や日にち・時間・会場などの齟齬が見られ、内容の照合に時間がとられたが、経験とスキルを持ち各業務に精通した職員が複数いることで、利用者へご負担を掛けることなく、かつ法令遵守を前提に利用者ニーズに沿った施設の提案や、的確で柔軟な対応が出来、公平平等でスムーズな施設の運営が可能であった。また、随時研修を行い、スキルの向上にも努めた。	利用者ニーズ報告後における反映への方策

施設の管理	A	各所不具合が発生した際には、建築士資格保有の職員によりの確な判断指導と、迅速な情報共有により、安心安全な施設の提供に努めた。書類の取り扱いも徹底し、保管や処分にも配慮して管理した。貸出用備品が更新されず、利用者に困惑される場面もあった。また、緊急時のマニュアルを作成し各訓練を実施。災害を最小限に納めるよう情報共有に努めた。	・舞台関係の不足備品や不良物品の更新。新規備品が使用できない状態の解消 ・リニューアルで更新されなかった備品の更新
経理の状況	A	適切な帳簿管理と経費節減に取り組み、概ね予算通りに推移した。職員一元化による業務遂行が経費削減に寄与している。	・人件費・物価高騰による委託料や経費増への対応
団体の財務状況	B	会社本体の財政状況は、良好に推移している。	現状を維持できるよう努めます。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施している。	
施設の管理	B	利用者の安全を第一に考え、施設に不具合が生じた際には迅速に対応している。	
経理の状況	B	収支状況、経費の節減、帳簿等の整備・保管状況については、適正に実施している。	
団体の財務状況	B	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有している。	

【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など

団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか
---------	---------------------------

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する